

令和2年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金(共同利用施設(ロボット技術開発等関連)整備事業)			担当部局	復興庁	作成責任者			
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	令和2年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	増田 直樹		
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	福島復興再生特別措置法第81条～第89条(令和2年6月改正前の福島復興再生特別措置法)			関係する計画、通知等	○イノベーション・コースト構想(平成26年6月) ○福島イノベーション・コースト構想に係るロボットテストフィールド及び国際産学官共同利用施設(ロボット)の整備及び運営に関する協定(平成28年1月) ○「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針について」(平成28年12月) ○「福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律」(平成29年5月) ○「経済財政運営と改革の基本方針2017」(平成29年6月) ○「未来投資戦略2017」(平成29年6月) ○「福島復興再生基本方針」(平成29年6月) ○「重点推進計画～世界に誇れる福島の復興・創生の実現～」(平成30年4月)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	福島県浜通り地域において、国内外の研究者、技術者、企業等の英知を結集するためにも、共同で研究を行い、イノベーションを継続して創出する環境を整備する。この実現に向け、ロボット分野等の先進的な共同利用施設の整備、設備等の導入等を行い、国内外の研究者が継続的に滞在し、基礎的・基盤的な研究を実施できる環境とともに地元企業等への技術指導・技術力向上のための試験設備等を整備し、福島県浜通り地域においてロボット分野に関する新技術・新産業の創出を目指す。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	①多様なロボットの試作や基礎性能試験評価に係る高精細加工設備や試験設備、屋内ロボットの標準的な試験設備を兼ね備えたロボットに関する基盤技術・要素技術開発を行うテストフィールドとの機能連携が可能な国際産学官共同利用施設を整備 ②地元企業等へのロボットに関する技術・ノウハウの移転・蓄積のための技術指導や、国内外の研究者が宿泊しつつ共同研究等の実施及びワークショップの開催なども可能な機能も合わせて整備するための整備費等 に対して補助する。 [補助率] 経済産業省 → 福島県 定額(10/10)								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		補正予算	1,281	1,767	3,106	-	-		
		前年度から繰越し	▲ 170	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	78	79	1,193	335	-		
		予備費等	▲ 79	▲ 1,193	▲ 335	-	-		
		計	-	-	-	-	-		
	執行額	1,110	653	3,964	335	0			
	執行率(%)	925	653	3,374					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	83%	100%	85%						
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	整備費	0	0						
	計	0	-						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度	
	国内外の企業・研究者によるロボット関連技術開発共同利用施設、地元企業への技術指導等について、平成32年度までの利活用件数600件。	国内外の企業・研究者によるロボット関連技術開発共同利用施設、地元企業への技術指導等の利活用(のべ)日数、件数	成果実績	件	-	63	173	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	600
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	年間稼働日数 約250日×3年間×利活用率 80%								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込		
	国際産学官共同利用施設の整備数	活動実績	-	-	-	-	-		
		当初見込み	-	-	-	-	1	1	

単位当たりコスト		算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
		執行額／国際産学官共同利用施設の整備数	単位当たりコスト					百万円	-	-
			計算式	百万円／整備数	-	-	-	-	5,287/1	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	IV. 中小・地域								
	施策	5. 福島・震災復興								
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	<p>本事業により整備されるロボット関連技術開発共同利用施設を利用して地元企業に技術指導等を行うことにより、福島県浜通り地域でイノベーションが継続して創出される環境を整備し、ロボット分野に関する新技術、新産業の創出に寄与する。</p> <p>なお、これらイノベーション・コースト構想関連事業は政府方針等に復興施策として位置づけられており、本事業を着実に推進することにより、福島県浜通り地域の広域的かつ自立的な経済復興の早期の実現を図る。</p> <p>(参考)「復興・創生期間」後における東日本大震災からの復興の基本方針(令和元年12月20日閣議決定)</p> <p>II「復興・創生期間」後の基本方針</p> <p>1. 復興の基本姿勢及び各分野における取組</p> <p>(2)原子力災害被災地域</p> <p>福島の復興・再生には中長期的な対応が必要であり、復興・創生期間後も引き続き国が前面に立って取り組む。こうした状況に鑑み、当面10年間、復興のステージが進むにつれて生じる新たな課題や多様なニーズにきめ細かく対応しつつ、本格的な復興・再生に向けた取り組みを行う。具体的には、地震・津波被災地域と共通する事項のほか、それぞれの地域の実情や特殊性(中間貯蔵施設の受け入れ等)を踏まえながら、避難指示が解除された地域における生活環境の整備、長期避難者への支援、特定復興再生拠点区域の整備、福島イノベーションコースト構想の推進、事業者・農林事業者の再建、風評の払拭に向けた取組等を引き続き進める。</p>									
	取組事項	分野:	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	平成26年12月に発足した、高木経済産業副大臣を座長とし、福島県知事、地元自治体の首長、有識者で構成される「イノベーション・コースト構想推進会議」において、平成27年6月、構想の実現に向けた議論の整理がなされ、ロボットテストフィールドと国際産学官共同利用施設について事業化していくことが決定した。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	福島浜通り地域の復興のために、ロボットの開発・実証拠点を整備しつつ内外の研究者を集めることは、国主導で実施することが必要。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針(平成28年12月20日閣議決定)等」において、福島イノベーション・コースト構想の推進が掲げられており、本事業を速やかに推進する必要がある。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	当事業は福島県が整備主体となることが決定しており、今後設計及び施工にあたり、国際競争入札を含め、広く民間企業等を対象として公募を行うため、競争性は確保される。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国が策定した福島イノベーション・コースト構想に基づく施設として、福島県が整備することとされており、受益者との負担関係は妥当。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	外部有識者で構成される委員会での評価を踏まえつつ、事業に必要な経費を精査しており妥当。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	必要な経費のみを計上している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	採択に当たっては、外部有識者から成る委員会での評価を踏まえ、事業目的に沿った施設の整備に限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	入札減等のため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	共同利用施設の利用者を対象とした研修棟の整備にあたり、地元事業者等との調整に不測の日数を要したため	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	ロボットテストフィールドと一体的に効率的運営を行うための法人を設立。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	委員会においてニーズを把握し、必要な施設を整備することとしている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
	経済産業省	0127	福島イノベーション・コースト構想(ロボットテストフィールド・研究開発拠点整備事業)
点検・改善結果	点検結果	多くの産業を支える基盤が喪失した福島県浜通り地域において、新たに開発される廃炉技術等も活用しつつ、新技術・新産業の創出を図ることが重要。そのため、福島県浜通り地域において、ロボット技術に関する浜通り地域内外の研究者、技術者、企業等が共同研究を行い得る環境を整備するとともに、地元企業等へのロボットに関する技術・ノウハウの移転・蓄積のための技術指導等を行う拠点として、国際産学官共同利用施設を国が主導し、国費(定額)により整備することは適切である。また、不要・繰越額については、入札減や、調整に不足の日数を要したためであり、問題はない。	
	改善の方向性	本事業の目標達成に向けて、点検項目の評価を維持していく。	
外部有識者の所見			
令和2年度で計画通り終了することは適当。事業の検証を行い、成果や知見の活用をはかること。			
行政事業レビュー推進チームの所見			

終了予定 事業の検証を行い、知見や成果の活用を図ること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定終了通り これまでの事業の検証を行い、知見や成果について活用を図る。

備考

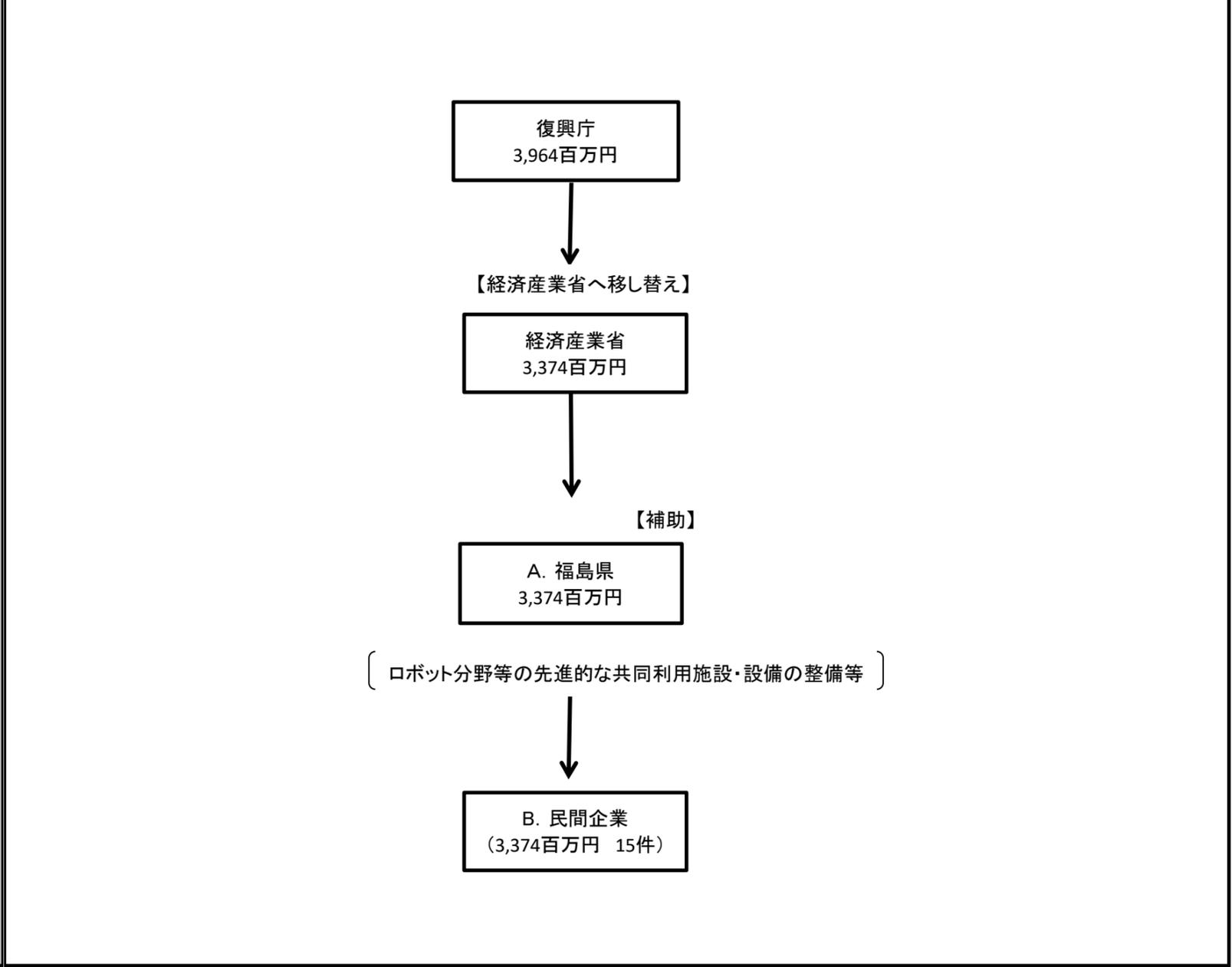
—

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	新28-0005	平成29年度	0133
平成30年度	0124						
平成31年度	復興庁 (0125)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.福島県			B.関場・藤特定建設工事共同企業体		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
整備費	共同利用施設の整備	3,374	工事請負委託費	研究棟整備(電気)工事	606	
計		3,374	計		606	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県	7000020070009	共同利用施設の整備・運営	3,374	補助金等交付	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関場・藤特定建設工事共同企業体	1380001015636	ふくしまロボットテストフィールド研究棟(仮称)整備(建築)工事	606	一般競争契約(総合評価)	1	-	-
2	庄司建設工業(株)	6380001015598	福島ロボットテストフィールド風洞棟整備工事	408	一般競争契約(総合評価)	2	-	-
3	東北建設(株)	2380001015701	福島ロボットテストフィールド屋内水槽試験棟建屋整備工事	294	一般競争契約(総合評価)	3	-	-
4	(株)風技術センター	4010601019269	風洞試験装置	252	一般競争契約(最低価格)	4	-	-
5	光洋・三浦特定建設工事共同企業体	2380001015833	ふくしまロボットテストフィールド研究棟(仮称)整備(電気)工事	241	一般競争契約(総合評価)	9	-	-
6	東北建設(株)	2380001015701	福島ロボットテストフィールド屋内水槽試験棟整備工事	231	一般競争契約(総合評価)	2	-	-
7	(株)東栄科学産業郡山営業所	3370001002030	ドローンOTA評価試験システム	203	一般競争契約(最低価格)	2	-	-
8	富士エンタープライズ(株)	1010001055388	マシニングセンタ	148	随意契約(その他)	1	-	-
9	高千穂精機(株)郡山営業所	3010101007931	振動試験装置	126	一般競争契約(最低価格)	3	-	-
10	(株)東栄科学産業郡山営業所	3370001002030	X線CT装置	97	一般競争契約(最低価格)	4	-	-